

災害に備え、地域連携力を高める

～地域におけるボランティアの重要性～

■日時：平成28年1月16日(土)
13時30分～16時(開場：13時)

■場所：半田市福祉文化会館(雁宿ホール)

■定員：300名(要事前申込・先着順) ※参加者には粗品を進呈します!



(写真提供、半田市)

第1部 講演：巨大地震を前に総力と本気の地震対策

講演者：福和伸夫氏 (名古屋大学減災連携研究センター長・教授)

第2部 講演：災害ボランティアと避難所運営について

講演者：栗田暢之氏 (認定特定非営利活動法人レスキューストックヤード代表理事)

主催／愛知県、半田市、一般財団法人地域社会ライフプラン協会、半田市教育委員会、半田災害支援ボランティアコーディネーターの会、半田商工会議所災害・環境対策委員会
共催／防災のための愛知県ボランティア連絡会
協力／常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町

・このセミナーは、自治宝くじの市町村振興事業として、一般財団法人全国市町村振興協会の助成金を活用して開催しています。

お申込み

愛知県防災局防災危機管理課まで、FAX(052-954-6911)または、E-mail(bosai@pref.aichi.lg.jp)にてお申込みください。

※FAXは下記フォームにご記入の上お申込みください。

※E-mailは、件名を【講演会申込み】とし、所属名、代表者氏名と参加希望人数を記入の上、送信してください。

なお、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

※定員になり次第締め切らせていただきます。申込み超過等により参加をお断りする場合以外は、特にご連絡いたしませんので、ご了承ください。

問い合わせ先：愛知県防災局防災危機管理課 啓発グループ TEL.052-954-6190 (平日9時～17時)

申込み締切
平成28年1月13日(水)

～「防災とボランティア週間」講演会 FAX 申込書～

愛知県防災局防災危機管理課 啓発グループ宛 FAX:052-954-6911

所属名： _____ (未記入でも構いません)

参加希望人数： _____ 人

代表者氏名： _____

電話番号： (_____) _____

愛知県では近い将来、南海トラフの巨大地震などの大規模災害の発生が懸念されており、こうした大規模災害に対して、個人や地域で備え、災害対応力を高めることが重要です。特に知多地域においては、津波による被害も大きな課題であり、内陸部より沿岸部の想定被害が大きいことから、地域の防災連携力が益々重要です。また、高齢社会を迎え、シニア世代が増加する中、地域での災害の備えを進めるためには、地域における自主防災活動やそれを支えるボランティア活動が大切です。こういった地域における防災活動とそれを支えるボランティアの役割について理解を深めるため、愛知県、半田市及び一般財団法人地域社会ライフプラン協会などが主催となり、「防災とボランティア週間」講演会を開催します。

※平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」を踏まえ、災害時におけるボランティア活動及び自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図るために、毎年1月15日から21日を「防災とボランティア週間」としています。



半田市観光マスコットキャラクター
だし丸くん



あいち防災キャラクター
防災ナマズン

Schedule

13:00～13:30 開場・受付

13:30～13:40 主催者挨拶

13:40～14:40 講演①

巨大地震を前に 総力と本気の地震対策

福和 伸夫 氏

(名古屋大学減災連携研究センター長・教授)

14:40～14:50 休憩

14:50～15:50 講演②

災害ボランティアと 避難所運営について

栗田 暢之 氏

(認定特定非営利活動法人レスキューストック
ヤード代表理事)

15:50～16:00 閉会

講師紹介

ふくわ のぶお
福和 伸夫 氏 名古屋大学
減災連携研究センター長・教授

1981年 名古屋大学大学院工学研究科修了、清水建設(株)入社

1991年 名古屋大学工学部助教授

1997年 同大学先端技術共同研究センター教授

2001年 同大学大学院環境学研究所教授

2009年 同大学大学院環境学副研究科長

2012年 同大学減災連携研究センター長・教授

中央防災会議防災関連調査研究の戦略的推進WG、地震調査研究推進本部専門委員、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議、文部科学省防災科学技術委員会等、国をはじめ多数の委員を歴任。

日本建築学会賞(2003年)、文部科学大臣表彰科学技術賞(2007年)、グッドデザイン賞(2007年)、

日本建築学会教育賞(2008年)、地域安全学会技術賞(2008年)、日本災害情報学会廣井賞(2009年)、

日本耐震グランプリ(2009年)、防災功労者・防災担当大臣表彰(2014年)、日本免震構造協会普及

賞(2015年)などを受賞。

専門分野は、建築耐震工学、地震工学、地域防災。



くりた のぶゆき
栗田 暢之 氏 認定特定非営利活動法人
レスキューストックヤード代表理事

1964年 岐阜県生まれ。

1995年 阪神・淡路大震災の際は当時勤務していた大学の学生ら延べ1,500名のコーディネートを務め、以降現在までに35箇所を超える自然災害の現場で支援活動を展開している。またその現場での学びを生かし、地域防災力の向上や災害ボランティアの育成等に尽力している。

2011年 東日本大震災の際は、東日本大震災支援全国ネットワーク(JCN)代表世話人、愛知県被災者支援センター長なども務める。震災がつなぐ全国ネットワーク代表、災害ボランティア活動支援プロジェクト会議幹事、その他、中央防災会議専門調査会委員ほか省庁や愛知県地震対策有識者懇談会委員など愛知県や名古屋市などの各種検討会委員も歴任。



【愛知県の取組紹介】家具等転倒防止対策推進事業

愛知県家具固定相談窓口

災害に備え、各家庭や事業所などで家具固定に取り組んでいただけるよう、平成27年9月1日(火)に、家具固定に関する相談窓口を設置しました。家具固定に関する疑問点など、お気軽にご連絡ください。

TEL.052-954-6700 (受付 平日 9:00～17:15)

愛知県家具固定推進員の派遣

地域における家具固定を推進するため、今年度から家具固定推進員(家具等転倒防止対策を推進するボランティア)を地域の講習会やイベント、防災訓練等に派遣し、家具固定器具の取付け実演や啓発活動を実施しています。

●募集期間 平成27年 9月1日(火)～平成28年2月21日(日)

●派遣期間 平成27年10月1日(木)～平成28年3月21日(月)



シニア災害ボランティアシンポジウム

「防災とボランティア週間」講演会

災害に備え、地域連携力を高める
～地域におけるボランティアの重要性～

■日時：平成28年1月16日(土) 13時30分～16時(開場：13時)

■場所：半田市福祉文化会館(雁宿ホール)(半田市雁宿町1-22-1)

〈交通のご案内〉名鉄河和線「知多半田」駅から徒歩3分

JR武豊線「半田」駅から徒歩10分

〈問い合わせ先〉愛知県防災局防災危機管理課 啓発グループ TEL.052-954-6190

入場無料